

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 獣医師確保修学資金給付事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内4160)

E-mail : c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,772千円 (前年度予算額： 13,772千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	13,772	0	0	0	0	0	0	0
要求額	13,772	0	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、産業動物獣医師の就業者数の低迷や地域の自衛防疫を担う指定獣医師の高齢化が進んでおり、地域において適正な獣医療の提供や自衛防疫を推進するためには、産業動物獣医師の確保が必要である。

また、全国的に獣医師の公務員志望が少ない傾向にあり、本県でも採用が計画どおり進まず、慢性的に不足している状況である。

(2) 事業内容

①修学資金給付事業

(公社) 岐阜県獣医師会による全国獣医系大学の獣医学生を対象とした、修学資金の貸与事業に対して助成する。

対象者：本県での産業動物獣医師の就業を希望する学生（原則4～6年生対象）

岐阜県職員として獣医師の就業を希望する学生（原則4～6年生対象）

貸与月額：国公立大学10万円、私立大学18万円

※ 卒業後一定期間、県内で就業することで返還を免除

②人材確保事業

獣医師バンクの運営により、獣医事に従事していない潜在的な獣医師の掘り起しを行い、産業動物獣医師への就業を促す。

県内産業動物獣医師として従事を希望する獣医師に対し、募集団体等の紹介を（公社）岐阜県獣医師会の協力のもと実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

①修学資金給付事業

国と事業実施主体（岐阜県獣医師会）が1/2ずつ負担
(事業実施主体分を県負担10/10)

②人材確保事業

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	13,772	獣医系大学生修学資金援助、獣医師人材確保事業助成
合計	13,772	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画」に基づき、産業動物獣医師の確保に努めている。

(2) 国・他県の状況

全国26県が獣医師養成確保修学資金給付事業を活用している。

(3) 後年度の財政負担

獣医師数確保のため継続して必要

(4) 事業主体及びその妥当性

- 事業主体：公益社団法人岐阜県獣医師会
- 事業主体の妥当性：県内の獣医師で組織し、獣医学術及び技術の振興・普及を図り、行政の補完的立場で獣医事指導の推進を行う県内唯一の機関。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	獣医師確保修学資金給付事業費補助金
補助事業者（団体）	公益社団法人岐阜県獣医師会 (理由) 県内の獣医師で組織し、獣医学術及び技術の振興・普及を図り、行政の補完的立場で獣医事指導の推進を行う県内唯一の機関
補助事業の概要	(目的) 県内産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師を確保する。 (内容) 本県での産業動物獣医師又は岐阜県職員獣医師として就業を希望する学生に対し修学資金を支給する。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 10分の10以内 (理由) 実施主体は収入基盤が脆弱であり、県畜産施策上必要な事業について必要な範囲内で補助が必要。
補助効果	不足する県内の産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の確保
終期の設定	終期 令和9年度 (理由) 終期到来時にその時の達成状況や社会情勢等を踏まえて、その後の方針を検討のうえ、継続や廃止等の判断をする。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 「岐阜県における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画」及び岐阜県職員定数に基づき、県内産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師を確保する。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①県職員獣医師 従事者数	142	133	130	148	148	88%

補助金交付実績 (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	8,175	12,111	13,529	13,690	12,754

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 獣医系大学の2年生から6年生まで計8名へ修学資金を支給し、県内産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の確保を図った。
令和5年度	指標① 目標：148 実績：131 達成率：89 % ・取組内容と成果を記載してください。 獣医系大学の3年生から6年生まで計10名へ修学資金を支給し、県内産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の確保を図った。
令和6年度	指標① 目標：148 実績：133 達成率90% ・取組内容と成果を記載してください。 獣医系大学の3年生から6年生まで計10名へ修学資金を支給し、県内産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の確保を図った。
	指標① 目標：148 実績：130 達成率88%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
	3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない
(評価) 3 産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の減少により、地域における適正な獣医療の提供や自衛防疫、および畜産農家における適正な衛生管理や伝染病予防、並びに地域の公衆衛生の維持・向上が担保できない可能性があり、対策が必要である。	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
	3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）
(評価) 1 産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の高齢化が進んでおり、また若手獣医師が不足している。	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2 岐阜県獣医師会等関係団体と連携を密にして実施している。	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の就業者数の低迷はもとより、地域の自衛防疫を担う指定獣医師の高齢化と後継者不足のほか、県職獣医師選考試験の受験者数も低迷していることから、web開催のガイドラインなど機会を積極的に捉え、獣医学生へのPRを行う。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
産業動物獣医師及び岐阜県職員獣医師の高齢化が進んでおり、若手獣医師が不足している状況が継続しており、引き続き事業の継続が必要である。また、併せて獣医学生に産業動物獣医師や岐阜県の紹介を積極的に実施し、人材確保を進める。